

環境保全への取り組み

■環境配慮への基本方針

京王グループでは、「京王グループ理念」に「環境にやさしく」と掲げ、環境にやさしい企業を目指し、様々な環境活動を行っています。また、環境保全への配慮はグループ共通の課題であることから、京王電鉄は2004（平16）年12月9日に「京王グループ環境基本方針」を制定しました。

京王グループ環境基本方針

私たちは、「環境にやさしく」というグループ理念に基づき、環境問題を地球規模で考え、持続的発展が可能な社会の実現を目指して、環境保全に配慮した事業活動を行います。

1. 地球温暖化防止のため、エネルギーの効率利用に努めます。
2. 循環型社会実現のため、廃棄物の削減、リサイクルおよび適正処理を図るとともに汚染の予防に努めます。
3. 環境に関する法令、条例、協定などを遵守します。
4. 地域社会との調和を目指し、騒音、振動の抑制ならびに緑化活動の推進に努めます。
5. より良い環境の実現に向けて、地域や社会の環境保全活動に積極的に参加します。
6. 従業員一人ひとりの環境意識向上を図るため、啓蒙・教育活動を実施します。
7. これらの環境保全活動を推進するため、鉄道をはじめとするすべてのグループ会社の事業活動において環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に取り組みます。

2004年12月9日

京王電鉄株式会社

取締役社長 加藤 真

環境保全への取り組み

■環境保全への取り組み

当社では、環境に優しい交通機関を目指し、様々な取り組みを行っており、2000（平12）年10月には、当社のリサイクル活動への取り組みが評価され、「平成12年度リサイクル推進功労者等表彰」（リサイクル推進協議会実施）において運輸大臣賞を受賞しました。

●きっぷのリサイクル

1999（平11）年3月から各駅で回収された使用済みきっぷ（普通券・回数券）をリサイクルし、全駅のトイレトーパーとして使用しています。

●定期券・パスネットカードのリサイクル

日本で初めて、2000（平12）年1月から使用済み定期券を再利用した“エコベンチ”を駅に設置しています。

また、新たに設置するホーム待合室内にも定期券・パスネットカードをリサイクルしたベンチを設置しています。

●ペットボトルリサイクル

2002（平14）年1月から駅売店などで回収された飲料用ペットボトルをリサイクルし、全駅の案内板として使用しています。



エコベンチ



案内板

●周辺環境への配慮

◎騒音・振動対策

車輪の振動を自動的に検出するセンサーを京王線・井の頭線の各1ヵ所に設置し、振動・騒音の早期発見・改善に努めています。また、レールを溶接し、継目箇所を少なくするロングレール化の実施により、振動・騒音の低減や乗り心地の向上を図っています。

◎線路わきの環境保全

1991（平3）年度から、線路わきの雑草には除草剤ではなく人力による草刈りで対応しています。また、降雨時の雨水の流入による斜面の崩壊を防止するとともに、お客様に楽しんでいただくことを目的として、井の頭線を中心に線路わきの斜面にサザンカ・ツツジ・アジサイなどを植栽し緑化を進めています。当社のこの取り組みは、2001（平13）年2月に第7回杉並「まち」デザイン賞を受賞しました。



線路わきの環境保全としての緑化

●省エネルギー車両の導入

新たに導入する京王線9000系、井の頭線1000系車両では、従来の車両に比べてさらに車体の軽量化を図っています。また、京王線7000系車両の制御装置を順次VVVFインバータに更新し、一層の省エネルギー化を図っています。

●太陽光発電システム

2001（平13）年2月から、明大前駅、若葉台駅、高幡不動産車両基地の3施設で、太陽光発電システムを導入し、照明や自動券売機などの業務用電力の一部として活用しています。



太陽光発電システム

環境保全への取り組み

■循環型リサイクルの推進 環境ベンチャー企業の(株)アグリガイアシステムと提携し、環境リサイクル（食品廃棄物リサイクル）事業に取り組んでいます。

●リサイクルパッケージシステム

「リサイクルパッケージシステム」とは、グループ各社で実績のある食品リサイクル法への対応や食品リサイクル処理についてトータルコーディネートした循環型リサイクルシステムを、グループ以外の企業に対して提案、構築するものです。



バイオ消臭剤「消臭&肥料」

●バイオ消臭剤「消臭&肥料」

京王プラザホテルや京王ストアなど、京王グループ各社から排出された食品廃棄物のリサイクルから生まれた、バイオ消臭剤「消臭&肥料」は、トイレや生ゴミの悪臭（硫化水素系）やたばこの悪臭（アセトアルデヒド）を吸着し不快感を緩和させる無臭の脱臭剤で、消臭効果が無くなった後（約2ヵ月の使用後）は有機肥料として土に混ぜ、野菜などを育てることができる完全循環型のリサイクル商品です。

●リサイクルから生まれた「堆肥」の活用

リサイクルから生まれた「堆肥」は、桜ヶ丘カントリークラブの芝に使用するなど、グループ各社で活用するとともに、この堆肥で生育した野菜は、おいしく安全な特別栽培の野菜として京王ストアで販売したり、京王プラザホテルで提供する料理の食材として使用しています。

